品川総合福祉センター

一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

No.164
2025/7/1 発行

品川総合
福祉センター
公式サイト

令和6年度事業報告

▲「雨上がりのかくれんぼ」　製作：平和の折ばら折り紙サークル

2P　**令和６年度事業報告**
　　品川総合福祉センター｜高齢者部門(入所)
3P　高齢者部門(通所)｜障害者部門(入所・通所)
4P　児童部門｜地域福祉課
5P　事業活動収支計算書
6P　決算報告・寄付者一覧
7P　成果発表・訓練センター｜らうんじ
8P　しなふくの窓｜お知らせ｜職員募集

令和6年度事業報告

品川総合福祉センター

令和６年度は、中長期基本方針である「第二次未来創造図」に基づき策定された「第二期中期経営計画」の中間年にあたります。各事業所では６項目の重点課題に取り組み「三つのゼロ」の実現を目指しました。計画に対し達成に至らない事項もありましたが、引き続きブラッシュアップを重ねて取り組んでまいります。

福祉業界全体の課題でもある人材確保については、法人独自の職員紹介制度が活性化し、採用に効果が出てきています。新たに特定技能制度を活用した外国籍の人材登用も進めました。

当法人の特色の一つでもある地域福祉については、法人全体で地域への啓発と福祉教育に力を入れ、「しなふく食堂」「ヤングケアラーサポーター養成講座」を開催、また、「移動支援従業者養成研修」の回数を増やしました。

高齢系施設の運営では、中延複合施設と八潮南複合施設の指定管理者として運営受託を継続することができました。

▲「スイカとれたよー！」（かもめ園園芸療法にて）

補助金を活用しICT機器を導入する事業所も増えています。パン工房プチレーブに関しては、本部敷地へ店舗移転とする決定を行い、年度内に工事が完了、新装開店しました。

八潮南複合施設の増改築工事並びに中延複合施設の大規模改修工事計画についても品川区と連携し事業を進めました。

高齢者部門

入所

利用者の方へより良いサービスを提供する為に、各事業所では見守りセンサーおよび移乗用ロボット等、ICT機器や介護機器の導入を進めました。また、各事業所で将来の福祉の担い手となる実習生を積極的に受け入れ、３名の実習生が新卒採用に繋がりました。育成に関しては、内部研修が中心ですが、事業所間および他法人との交換研修を進めました。日々取り組んだ成果を発表する機会である令和６年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会では、「ICT機器の導入実績」と「入浴の取り組み」ついての２つの演題をそれぞれ発表致しました。

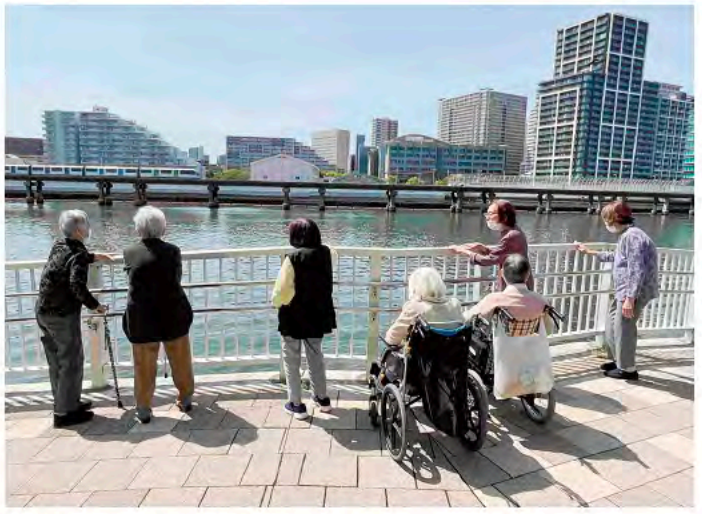
▲中延特別養護老人ホーム「週2回入浴プラスα」
週３回入浴の実現を目指し取り組みました

通所

高齢者が「地域の一員であり続けられる」為に、介護支援センターはじめ関係各所との連携により、スムーズで適切なサービス提供を行いました。心身機能維持を目的とした仲間との外出は、特に楽しみな活動のひとつです。

介護予防事業にも一層力を入れ「転倒防止エクササイズ」も「マシンでトレーニング」「身近でトレーニング」も好評でした。在宅生活を支えるご家族支援にも注力し、介護者教室や運営推進会議を開催し、ご家族との意見交換を図りました。

SNSで日常の様子やイベントを今後も発信し、より身近に感じてもらう工夫も継続していきます。



▲京浜島へ外出（中延在宅サービスセンター）

障害者部門

入所・通所

① **かもめ園**：利用者の皆様を更に深く理解するため、様々な研修に参加しました。研修で得た情報を職員全体で共有することで、利用者の個別支援の提供に繋げました。

② **さつき**：クリーニング作業が好調であることと、新規作業として電線剥離作業を導入したことで収入が安定しました。土曜日作業後のカラオケも好評でした。

③ **サンかもめ**：様々な作品展に出展し、創ることの楽しみ、取り組みが完成することの達成感を得ることができました。

④ **福祉工場しながわ**：パン工房プチレーブが八潮の法人本部施設の駐車場に移転、新規開店に向けて準備しました。令和7年から毎週水曜午後に八潮40号棟で出張販売が行えるよう企画準備を進めました。

⑤ **心身障害者福祉会館**：

生活介護事業：館外活動を個別化し、小集団で外出する機会を増やしました。自宅で長く生活できるように体のバランスを整えながら、筋力をつける新しいプログラムが導入しました。

▲自分ひとりで座れました（心身障害者福祉会館）

機能訓練事業：2つの医療学会のシンポジウムに参加し、幅広い認知を目指しました。

地域活動支援センター：令和6年度より、法人の事業である「移動支援従業者養成研修」を1回から2回に増やし、25名の方に受講していただき、講師の熱い思いにたくさんの感動の言葉をいただきました。

旗の台障害児者相談支援センター、品川区中延・大井第二・八潮障害者計画相談支援事業所：区内の相談支援専門員向けのスキルアップ研修で、事業の周知と支援の理解を深める為、高次脳専門相談の相談員が「高次脳専門相談について」の講義を行いました。

⑥ **鮫洲なぎさの家**：世話人が増えさらににぎやかになりました。

児童部門

令和６年度は、八潮北保育園、八潮中央保育園ともに、次年度に向けて、ICT化やサブスクリプションのサービスの導入に努めた１年となりました。主に保護者との連絡や情報の共有の際に電子連絡帳を用いたり、園で使用するエプロン、タオル、オムツのサブスクサービスを導入したりすることで、保護者の負担軽減、職員の業務の効率化を目指しました。これらの導入により、様々な準備にかけていた時間が減少し、時間的にも気持ち的にもゆとりをもって子ども達と関わることが見込まれます。

子ども達に還元できることは何なのかを考え、実現に向けて邁進しました。

▲「何して遊ぶ？」

地域福祉課

▲（上）ディスコミッキーマウスの曲に合わせて手話舞踊を披露
（下）「ハートでポーズ」
品川学園美術部の皆さんの作品の前で（かえで荘）

地域課題のニーズに対応した福祉啓発講座では「ヤングケアラーサポーター養成講座」3日コースを開催し、具体的な支援について学ぶ内容に定員を超える参加がありました。また、居場所づくりの一環とニーズを確認するために、「しなふく食堂」を試行的に開催し、好評を得ました。福祉教育では、区内の中学校や小学校で、車椅子体験や重度身体障害のある方の自立生活を学ぶ機会を設け、理解を促進しました。ボランティアの活動受入れでは法人全体で活動延べ人数は1765名になりました。広報ではホームページの更新、SNS推進について職員が学ぶ機会を設け、法人の取組みについてタイムリーな情報発信を行うよう努めました。「障害者週間記念のつどい」に、障害施設利用者が「リズム舞踊」で参加する機会を得て、利用者の社会参加を支援しました。「しなふく紅葉フェスタ」では、着物リメイクファッションショーなどで、「地域とともに」を実現しました。

第２号第１様式

事　業　活　動　計　算　書

（自）　令和06年 04月 01日　（至）　令和07年 03月 31日

社会福祉法人　品川総合福祉センター
法人事業合計

（単位：円）

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,979,340,093	1,884,939,824	94,400,269
		保育事業収益	437,730,355	436,491,502	1,238,853
		就労支援事業収益	150,618,064	147,651,546	2,966,518
		障害福祉サービス等事業収益	1,398,250,560	1,299,161,020	99,089,540
		公益事業収益	45,212,317	44,712,541	499,776
		経常経費寄附金収益	27,574,441	1,665,595	25,908,846
		その他の収益	3,930,692	6,536,608	△2,605,916
		サービス活動収益計（1）	4,042,656,522	3,821,158,636	221,497,886
	費用	人件費	2,640,775,593	2,496,744,398	144,031,195
		事業費	409,522,024	399,729,847	9,792,177
		事務費	776,807,230	784,520,750	△7,713,520
		就労支援事業費用	210,571,096	200,630,748	9,940,348
		利用者負担軽減額	462,444	178,265	284,179
		減価償却費	135,761,440	133,148,541	2,612,899
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△69,509,543	△66,889,251	△2,620,292
		徴収不能引当金繰入	1,331,661	863,978	467,683
		サービス活動費用計（2）	4,105,721,945	3,948,927,276	156,794,669
		サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	△63,065,423	△127,768,640	64,703,217
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	198,649	30,814	167,835
		その他のサービス活動外収益	62,671,226	51,392,703	11,278,523
		サービス活動外収益計（4）	62,869,875	51,423,517	11,446,358
	費用	その他のサービス活動外費用	3,304,830	2,730,546	574,284
		サービス活動外費用計（5）	3,304,830	2,730,546	574,284
		サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	59,565,045	48,692,971	10,872,074
		経常増減差額（7）=（3）+（6）	△3,500,378	△79,075,669	75,575,291
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	41,637,646	19,792,000	21,845,646
		施設整備等寄附金収益	190,000		190,000
		固定資産受贈額	359,700	103,500	256,200
		その他の特別収益	21,123,686	12,143,232	8,980,454
		特別収益計（8）	63,311,032	32,038,732	31,272,300
	費用	固定資産売却損・処分損	14	272,807	△272,793
		国庫補助金等特別積立金積立額	41,827,646	19,792,000	22,035,646
		その他の特別損失	28,366,715	16,483,915	11,882,800
		特別費用計（9）	70,194,375	36,548,722	33,645,653
		特別増減差額（10）=（8）-（9）	△6,883,343	△4,509,990	△2,373,353
		当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	△10,383,721	△83,585,659	73,201,938
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額（12）	994,768,403	1,065,214,062	△70,445,659
		当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	984,384,682	981,628,403	2,756,279
		その他の積立金取崩額（15）	9,179,000	35,300,000	△26,121,000
		その他の積立金積立額（16）	2,069,999	22,160,000	△20,090,001
		次期繰越活動増減差額（17）=（13+14+15-16）	991,493,683	994,768,403	△3,274,720

令和6年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

伊藤とみ枝	川上多美子	木村幸生	島崎妙子
須藤安通	西島信夫	平林昭男	深澤時子
藤田弘志	水野谷裕子	宮崎栄子	矢部正美
山内翼	山下隆	山本淳子	

団体

イトーヨーカドー労働組合 大井町支部	かもめ園（知的）家族会	高齢者クラブ虹のかけはし 会長　渡邉まり子	品川区視覚障害者福祉協会
品川区社会福祉協議会	品川区重症心身障害児者を守る会	品川区手をつなぐ育成会	品川区立八潮わかば幼稚園
社会福祉法人さくら会	社会福祉法人春光福祉会	社会福祉法人福栄会	ディエススタッフ㈱ 代表取締役　入澤 理沙
東京善意銀行	東京都荏原歯科医師会 会長　和栗範幸	中延6丁目アパート自治会	中六さくら会
にじの会	八潮50号棟自治会	八潮自治会連合会	八潮地域センターフェスティバル
八潮4号棟自治会	八潮南47号棟自治会		

第３号第１様式

貸　借　対　照　表

令和07年 03月 31日　現在

社会福祉法人　品川総合福祉センター　　法人事業合計　　（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,104,157,179	1,123,898,991	△19,741,812	流動負債	358,085,162	381,366,214	△23,281,052
現金預金	617,478,788	637,125,313	△19,646,525	事業未払金	206,400,479	192,879,147	13,521,332
事業未収金	435,774,162	453,006,526	△17,232,364	１年以内返済予定設備資金借入金	10,010,000	10,010,000	
未収補助金	28,346,993	15,000,000	13,346,993	１年以内返済予定リース債務	5,749,128	7,334,764	△1,585,636
貯蔵品	300,000		300,000	預り金	6,425,343	24,406,915	△17,981,572
商品・製品	1,254,018	1,690,565	△436,547	職員預り金	15,191,212	32,923,388	△17,732,176
原材料	3,370,859	2,855,818	515,041	賞与引当金	114,309,000	113,812,000	497,000
立替金	624,657	724,088	△99,431	固定負債	275,812,376	283,341,436	△7,529,060
前払金	2,534,100	2,472,300	61,800	設備資金借入金	48,380,000	58,390,000	△10,010,000
前払費用	149,173	356,299	△207,126	リース債務	12,126,060	10,947,852	1,178,208
仮払金	16,450,600	11,771,800	4,678,800	退職給付引当金	215,306,316	214,003,584	1,302,732
徴収不能引当金	△2,126,171	△1,103,718	△1,022,453	負債の部合計	633,897,538	664,707,650	△30,810,112
固定資産	1,371,878,066	1,421,011,984	△49,133,918	純資産の部			
（基本財産）	492,791,253	564,664,061	△71,872,808	基本金	1,000,000	1,000,000	
建物	491,791,253	563,664,061	△71,872,808	国庫補助金等特別積立金	401,309,698	428,991,595	△27,681,897
定期預金	1,000,000	1,000,000		その他の積立金	448,334,326	455,443,327	△7,109,001
（その他の固定資産）	879,086,813	856,347,923	22,738,890	人件費積立金	30,590,000	35,650,000	△5,060,000
建物	1,197,008	1,607,407	△410,399	修繕積立金	15,197,000	15,197,000	
車輌運搬具	13,253,559	16,543,251	△3,289,692	備品等購入積立金	15,630,000	15,630,000	
器具及び備品	171,688,973	133,182,247	38,506,726	設備等整備積立金	4,620,000	4,620,000	
有形リース資産	17,875,188	18,282,616	△407,428	設備更新積立金	382,297,326	384,346,327	△2,049,001
ソフトウェア	11,381,443	17,066,318	△5,684,875	次期繰越活動増減差額	991,493,683	994,768,403	△3,274,720
退職給付引当資産	215,306,316	214,003,584	1,302,732	（うち当期活動増減差額）	△10,383,721	△83,585,659	73,201,938
人件費積立資産	30,590,000	35,650,000	△5,060,000	純資産の部合計	1,842,137,707	1,880,203,325	△38,065,618
修繕積立資産	15,197,000	15,197,000					
備品等購入積立資産	15,630,000	15,630,000					
設備等整備積立資産	4,620,000	4,620,000					
設備更新積立資産	382,297,326	384,346,327	△2,049,001				
差入保証金		20,000	△20,000				
長期前払費用		149,173	△149,173				
その他の固定資産	50,000	50,000					
資産の部合計	2,476,035,245	2,544,910,975	△68,875,730	負債及び純資産の部合計	2,476,035,245	2,544,910,975	△68,875,730

成果発表・訓練センター

◀周囲とのコミュニケーションを図りながら作業遂行する訓練

昨年度は品川区唯一の機能訓練事業所として立ち上がってから10周年を迎えた年でした。試行錯誤を繰り返しながらやってきた10年でしたが、事業所としても大きく成長できたと感じています。機能訓練と聞くと多くの方が身体機能面の向上をイメージされますが、私達が担っていることは“生活期におけるリハビリテーション”であると感じます。生活期リハビリとはリハビリ専門職がいなくても活動が保たれる状態を指し、治療ではなく利用者の主体的な活動を促すことが重要だと考えています。私達の強みはリハビリ専門職と福祉職が協力をしながら意見を持ち寄れるという点です。利用者が社会生活を送る上で何が必要なのか、今どんな課題を抱えているのかをリハビリ専門職の評価を持って確認し、福祉支援者が訓練上での支援を担うという現在の形を作り上げることができたことはこの10年間で得た大きな財産です。

支援に正解はなく、10人いたら10通りの形があると思っています。目の前の“この方”に興味を持って向き合う視点を引き続き大切にしながら、日々の支援にあたり次の10年に向かっていきたいと思います。

らうんじ

July 7

事務局次長の樺島です。私は、今年度４月に品川区役所から品川総合福祉センターに派遣されてまいりました。

品福に来て、職員の皆さんが「利用者の方に笑顔で接していること」「いきいきと働いていること」をとても感じています。区役所の中にいると、このようなことはなかなか分かりにくいことでした。私も今回、福祉の現場に来ることができたので、多くのことを吸収していきたいと思います。

今年度、品福は、職員の代表によるタスクフォースを立ち上げました。品福がこれから先も「地域の福祉を支える社会福祉法人」としてあり続けられるために、現場の職員が中心となって、経営に関することや福祉サービスに関すること等、様々なことについて見直しを図るとともに、より良い職場環境を作っていくことに取り組んでまいります。

法人の基本理念は「地域とともに」です。地域とともに品川区の福祉を支えていくために、職員一同頑張ってまいります。よろしくお願いします。

品川総合福祉センター 事務局次長　樺島 亮

しなふくの窓

このコーナーは普段は目に留まらないちょっとしたホッとするものをしなふくの「窓」を通して写真で紹介するコーナーです。

▲夏といえば海！

今春、かもめ園の園庭にあるベンチがリニューアルしました！

春夏秋冬の絵などが描かれたベンチはかもめ園職員・利用者、施設管理課職員が製作しました。今回は、夏の絵が描かれたベンチの写真とともに、製作のきっかけについてご紹介します。老朽化していたベンチの対応について、かもめ園職員が「アーティスティック（芸術的）にしたい、利用者にも製作に携わってほしい」と思ったことから製作が始まりました。職員の遊び心から生まれた素敵なベンチ。利用者もベンチに座り、園庭で四季を感じながら過ごしています。

こどものつどい

本部に開店したパン工房プチレーブのパンの製作体験と食育について学びます。

日　時：令和7年8月2日（土）10:00～12:00
場　所：品川総合福祉センター 1階（八潮5-1-1）
対　象：小学生・中学生　先着20名
参加費：無料
申込み：お電話もしくはメールで、氏名・連絡先・学年（年齢）

地域福祉課
03-3790-4839
chifuku.kouza@gmail.com

ご意見・ご要望はこちらへ

施設サービスに対するご意見・ご要望はこちらへご連絡ください。

また、品川総合福祉センターの各事業所の玄関に設置してある「声のポスト」へ、お手紙にしてお入れいただくことも可能です。

受付時間：土・日・祝・年末年始を除く
月曜～金曜　9:00～17:00
苦情解決第三者委員会直通電話
0120-37-4729

正職員 非常勤職員 学生アルバイト 大募集!!

まずは興味のある施設の見学をしてみませんか？

募集施設　品川区内の高齢者施設・障害者施設・保育園
募集職種　介護士・生活支援員・保育士
介護支援専門員・看護師 等
応募・問合せ先　社会福祉法人品川総合福祉センター 総務課

メールアドレス　soumu@shinafuku.org
電話番号　03-3790-4729
受付時間　平日　9:00～17:00

品川総合福祉センター広報誌　しなふくニュース　No.164
2025年7月1日発行
発行人：永田元
編集人：しなふくニュース編集委員会
ＵＲＬ：https://www.shinafuku.com/

発行所：
社会福祉法人品川総合福祉センター
03-3790-4729
〒140-0003　東京都品川区八潮5-1-1